



No.219

令和7年8月1日発行

滑 川 市 議 会

☎ (076) 475-2120

E-mail: gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校2年生 鬼原莉奈さんの作品)



6月9日、田中小学校6年生が議会の傍聴に訪れました。

(詳細は10、11ページをご覧ください)

令和7年6月定例会一覧

令和7年6月定例会一覧

開会
6月2日

閉会
6月16日

会期15日間

○本会議（主な内容）

2日

会期の決定

提案理由説明

補足説明

9日

代表質問・一般質問

10日

一般質問

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補足説明・質疑・

議案の委員会付託

追加提案

提案理由説明

補

◆令和7年6月定例会

令和7年度一般会計補正予算（第1号）（4億27万6千円）

を含む市長提出議案11議案を可決または承認及び同意

6月定例会

本会議

◇6月2日に本会議を開き、まず会期を16日までの15日間と決めた後に、令和7年度一般会計補正予算及び条例等の市長提出議案9件及び報告3件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当課長等から議案の補足説明がありました。

◇9日、10日は代表質問及び一般質問が行われ、12名の議員が市政一般に対する質問及び提出諸案件に対する質疑を行った後、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

また、1議案が追加提案され、市長から提案理由の説明がありました。一旦本会議を閉じ、担当課長から議案の補足説明があり、所管の委員会へ付託しました。

◇最終日の16日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長からそれぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。市長提出議案10件については一括して採決され、各常任委員長の報告

のとおり賛成全員で可決または承認されました。

続いて、市長から人事案件として、滑川市監査委員の委員に早水勉さん（二塚）の選任が追加提案され、同意としました。

最後に議員派遣について議決し、閉会中の継続審査を決定して、6月定例会を閉会しました。

常任委員会での審査 （主な質疑等）

各常任委員会への付託
案件はP13をご覧ください。

■総務文教消防委員会

付託された5議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆議案第30号 令和7年度滑川市一般会計補正予算（第1号）

問 官民連携・実証促進事業費について、ARコンテンツ制作業務の詳細はどのようなものか。

答 瀬羽町周辺の登録文化財などの歴史的な建造物や街並みを昭和時代の写真と対比できるようなコンテンツを考えているが、今後、プロポーザルを実施するものである。

問 滑川イノベーション推進事業費について、財源更生されたのはどの事業か。

答 共創ポイント事業である。旧デジタル田園都市国家構想交付金には事業数の制限があることから、交付税措置がある起債対応とするものである。

■産業厚生建設委員会

付託された7議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決または承認すべきものと決定しました。

委員会での主な質疑

☆議案第30号 令和7年度滑川市一般会計補正予算（第1号）

問 中滑川複合施設における収容人数が増えたことで、新たに消防避難器具を設置することだが、今後、賑いなどにより利用人数が更に増えた場合に、消防避難器具を増やす必

要はあるのか。

〔答〕消防法上で定められた収容人数については賑いにより生じる人数を考慮するものではないため、設置する消防避難器具の数は変わらない。



中滑川複合施設（メリカ）

☆議案第37号 市道の路線認定及び廃止について

〔問〕市道の認定・廃止について5路線あるが、どのような経緯から行うものか。

〔答〕有金江尻線については地元要望が出されているもので除雪路線にもなっているなど、市道としての機能が十分果たされていることから認定するもの。沖田新団地1号線、2号線

については開発行為に伴い都市計画法に基づき認定するもの。蓑輪町内4号線については県道の部分供用する終点となっており、現在施設内道路である。県から道路管理者として一体的に管理してほしいとの要請があったため認定するもの。蓑輪大浦線は県道バイパスとして供用されることから廃止するもの。

日誌

7年5月

9日 総務文教消防委員会協議会
定例議員協議会

13～14日

総務文教消防委員会行政視察
（埼玉県さいたま市・比企郡滑川町）

14～15日

産業厚生建設委員会行政視察
（新潟県阿賀野市・十日町市）

15日 千葉県我孫子市より行政視察

19日 北アルプス横断道路構想
推進会議総会（魚津市）

富山県選出国会議員との
懇談会（東京都）

20日 全国市議会議長会
定期総会（東京都）

大規模地震に備えた防災まち
づくりの推進に関する特別委
員会合同会議（東京都）

21日 全国市議会議員共済会
代議員会（東京都）

6月

23日 富山地区広域圏事務組合
議会5月臨時会（立山町）

24日 東京滑川会総会・懇親会
（東京都）

26日 議会運営委員会
産業厚生建設委員会協議会
定例議員協議会

28日 広報広聴委員会

2～16日 6月定例会
東京富山県人会

16日 「懇親のつどい」（東京都）
議会報編集委員会
広報広聴委員会

25日 厚生連役職員との懇談会
日中友好富山県地方議員連盟
理事会・総会（富山市）

30日 小中学校PTA連合会との
意見交換会

7月

3日 関西滑川会総会・懇親会
（大阪府）

5日 大規模地震に備えた防災まち
づくりの推進に関する特別委
員会（東京都）

8日 議会運営委員会協議会
定例議員協議会

10日 議会報編集委員会
沖田川中流域治水対策促進
期成同盟会総会

11日 朝日滑川間国道・バイパス
建設促進期成同盟会総会
（魚津市）

15日

代表質問

6月定例会では12名の議員が質問を行い、42項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。）

東部山麓道路建設促進期成同盟会総会（魚津市）

16日 議会報編集委員会
富山県日韓友好議員連盟
理事会・総会（富山市）

17日 富山高山連絡道路整備促進期成同盟会総会（富山市）

富山外郭環状道路整備促進期成同盟会総会（富山市）

25日 総務文教消防委員会協議会
産業厚生建設委員会協議会
上市町議会との親善交流会
（上市町）

29日 富山県日台友好議員連盟
理事会・総会（富山市）

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



1 コンピュータ管理運営費・DX推進事業費・システム改修等に係ることにについて
2 児童福祉事務費について
3 官民連携・実証促進事業費について
(会派＝志真会) 谷崎潤 一議員



代表質問



1 防災対策について
2 SDGs未来都市について
3 富山地方鉄道の運営について
4 市管理施設について
5 除雪対策について
(会派＝会派自民) 中川 勲議員



Q 令和7年3月コンピュータ管理運営費3億1千93万円が計上され、6月補正予算では1億218万計上された詳細を問う。

A 水野市長 令和3年9月に施行された地方公共団体情報システム標準化に関する法律に基づいて国が進める20の基幹業務の標準準拠システムへの移行に伴う費用がコスト高の原因になっている。本定例会の補正予算は、20の基幹業務以外の標準化対象外のシステム改修費等を予算計上した。

Q 富山県内自治体でコンピュータ運営管理の在り方など話合いはされているのか。

A 水野市長 継続的な情報システムの増大は、財政規模の小さな自治体にとつては非常に大きな課題であり、県や他市町村と連携し、システムの運用経費やガバメントクラウド利用料に対する確実な財政支援を国に要望している。

Q こどもの居場所づくり支援モデル事業と従来の子どもの居場所づくりに関する事業の違いを問う。

A 上田教育長 従来の事業は、新たな子ども食堂の開設や既に子ども居場所を開設している団体が

新たに実施する特色ある取組に対して、県の補助を活用して助成を行うものだ。今回国が公募しているものは、令和6年能登半島地震により被災した自治体を取り組む子どもの心の負担軽減も目的とした居場所づくりをテーマとしているものである。

Q 生活保護システムの改修内容を問う。

A 石川健康福祉部長 令和7年10月に施行される改定内容を反映させるもので、新たな基準による生活扶助額の算定方式の変更に伴い要否判定機能、保護決定処理、保護決定一括認定機能、基準額マスタの修正を予定している。

Q ARコンテンツの内容や必要性、実施範囲、経費を問う。

A 柿沢副市長 瀬羽町周辺の登録文化財の歴史的建造物や町並みを昭和時代の写真と対比させるコンテンツで、エリアの歴史、文化等を知り楽しむことができるものにした。新たな来訪者の呼び込みや回遊性の向上、滞在時間の延長、飲食店、雑貨店の消費拡大に期待ができ、新たな店舗誘致など、一層のにぎわいの創出につなげたい。

Q 能登半島地震から1年5か月経過したが、滑川市として課題はあるか。

A 水野市長 大きな課題として、1つ目が防災知識の普及、防災意識の向上、2つ目が市民への情報提供、3つ目が避難所の開設・運営、4つ目が沿岸部における避難行動支援で、これらの課題に対していろんな政策を打っている。

Q SDGs未来都市に県内で5番目に選定されたが、市民にどのようにPRし、何を重点的に取り組むのか。

A 水野市長 昨年5月、2024年度SDGs未来都市に全国24都市の1つとして選ばれた。市広報誌やホームページへの掲載、市庁舎の看板や封筒のリニューアル等で市民に周知を図ってきた。滑川市いきいき市政講座にも講座のメニューとして新たに追加した。そのほか、次世代を担う子どもたちに向けた学校での普及啓発講座なども行っていく予定である。

Q 富山地方鉄道は滑川市民にとって大切な公共交通と思ってい

A 水野市長 鉄道事業については令和2年度以降営業赤字が拡大している。令和7年3月期決算によると補助金を加えて約6億6千万円の営業赤字となっており、事業者のみで維持していくことは厳しいと認識している。市の支援として、令和7年度は、国、県、沿線市町村で約5億7千万円補助する。本市においても、列車の走行距離に応じた応分の支援を行う。

Q メリカの安全対策を建設が完成してから度々行われているが、設計時点で考えられなかったのか。

A 長崎産業民生部長 利用者からの意見が多数寄せられたものや指定管理者の要望を基に必要性を判断して実施した。特に利用者の安全や利便性に関するものは、速やかに改善を図った。

Q GPS端末を利用した除雪管理システム導入の考えはないか。

A 北島建設部長 除雪管理システムは、除雪の進行状況をリアルタイムで把握できるものであり、除雪業者への指示のほか、市民の問い合わせにも迅速に対応が期待でき、導入にあたっては、費用対効果を考え検討する。

一般質問



宿泊施設について

大浦 豊 貴 議員



Q 旅館業法第 1 条・第 2 条で定められている本市の宿泊施設数及び旅館・ホテル営業の客室数を問う。

A 長崎産業民生部長 旅館、ホテル営業が 5 件、簡易宿所が 3 件である。旅館・ホテル営業の客室数は計 120 部屋となっている。

Q 120 室という客室が、滑川市を訪れる宿泊者の需要に應えるものとして足りているのか足りないのか見解を問う。

A 長崎産業民生部長 足りているか足りていないかというのは一概には申し上げられない。ほたるいか海上観光時点では不足する場面もあるかと考えている。その他シーズンについての稼働率は各宿泊所で違うので一概に申し上げられない。

Q 本市の宿泊旅行客数や客室稼働率に関する見解を問う。

A 長崎産業民生部長 詳細な数字については把握していない。

Q 市内において宿泊施設を営む者または営もうとする者に対し助成金を交付することで、宿泊施設を確保し、都市機能の充実を図り、市内経済の活性化を推進するため、滑川市宿泊施設立地促進助成金の

交付を行っている。新しい施設が来れば競争原理が働く。そうすると、需要に対して供給が減る可能性があり、客室数は現状のままという考えもあるが、競争原理が働いた場合に単純に客室数は増えていくと考えているのか。

A 水野市長 商工会議所からホテル誘致に関する要望が毎年出ている。民間ホテル業者も滑川市に来て建たいという話も水面下では幾つか来ている。一概に利用率だけで需要と供給のバランスというのは、現時点で測れないと思う。

Q 新築対象事業の設備投資額に係る助成額は 1 億円が上限と、非常に大きな額だ。今年度中に補正予算が出てくる可能性があると考えられる。この制度が運用されると考えられるが、当局の見解を問う。

A 長崎産業民生部長 投資額に対する 20% 相当の補助金のため、市の予算規模に対してもかなり大きな額になると考える。経済への波及効果をはかることは難しいが、一定相当あり、有効な制度と考える。

一般質問



1 減税を目指した行政評価について
2 「持続」「安全」「強靱」な水道事業について
3 タラソピア解体後の跡地活用について
4 子育て、教育について

水橋 真 治 議員



Q 限りある財源で効果を最大化するという視点の下、歳出の適正化に取り組んでいるが、行政評価を生かして、無駄な仕事を減らし財政の余力を生み出すことで、一部を市民税や固定資産税の減税に充てることはできないか。

A 石川総務部長 予算編成や政策評価等の取組を通じ、市の事業全体を行うための財源を確保していく必要がある。財源に余力があれば減税を実施することは不可能ではないものの、変化が速く不確実性の高い時代に対応するため、各種市税を含めた一般財源は貴重な財源でもあり、現状では難しいものと考えている。

Q 水道施設の老朽化と更新費用の見える化に当たって、水道施設の維持更新コストだけでなく、他の公共施設の維持更新コストも含めた総合的な情報提供を行うべきではないか。

A 北島建設部長 水道施設の維持更新コストについては、現在改定予定の滑川市水道事業ビジョンにて、今後 10 年間の事業計画は約 20 億円の事業費を見込んでいる。下水道では下水道施設管理計画、橋

梁では橋梁長寿命化修繕計画、道路施設では道路施設管理計画をホームページに掲載し、具体的な対応方針を示しているところである。

Q タラソピア解体後の跡地は、解体後はどのようにしておくのか。

A 柿沢副市長 タラソピア解体は、今年度いっぱい実施する予定としている。それを待つことなく、今年度からその跡地の活用も含めて他の施設と一体的に整備していく。一旦は更地にして、今年度構想を立て、その実現に向けて実証実験などもしながらさらに検討を詰めていきたい。

Q 昨年度の教員の働き方改革の具体的な取組の成果と課題に基づいて、今年度はどのように取り組むのか。

A 上田教育長 文部科学省は、勤務時間の上限の目安を月 45 時間としているが、昨年度の本市の中学校教員の時間外勤務時間の平均はこれを満たしており、働き方改革が着実に進んでいる。今年度は、統合型校務支援ソフトを導入し、業務の効率化が一層進められると期待する。中学校では休日の部活動の地域展開に向けて進めている。

一般質問



3 2 1

市内公共施設の維持管理について
教育保育環境について
観光振興について

安達 真 隆 議員



Q 市民交流プラザあいらぶ湯の給湯設備更新工事の進捗を問う。

A 石川総務部長

市民交流プラザ

あいらぶ湯の給湯設備については、平成19年のオープンから18年が経過しており、これまで修繕やオーバーホールを行い維持管理してきた。今回、経年劣化に伴い不測の事態が想定されることから、更新工事を実施する。先日、入札において落札者が決定した。今後、工事請負契約を締結し、順次進める。工事に際しては、駐車場の一部を工事用に使用する必要があるため、隣接する商業施設関係者とも十分協議しながら、商業施設や市民交流プラザの利用者に不便をかけないよう配慮して実施したい。

Q 私立認定こども園及び私立保育園に対して国の交付金を活用し、空調設備更新等修繕工事費が提案されている。詳細を問う。

A 高倉教育委員会事務局長

本会議

に予算計上している保育所等施設整備補助金については、同朋認定こども園及び浜加積保育園の大規模修繕を対象としている。同朋認定こども園は保育室に設置されている空調設備の老朽化による更新

及び保育室等の床が沈下していることから修繕する。浜加積保育園は、老朽化により保育室や遊戯室の床のささくれが目立つことから、幼児の安全確保のため既存の床にクッションフロアを張る施工を行う。国2分の1、市4分の1、事業者4分の1の負担割合に応じ国と市で補助する。

Q ほたるいか海上観光運航率が5割を切る中、多くの観光客を呼び込むには2隻体制に戻す検討はできないか。

A 長崎産業民生部長

ほたるいか

海上観光の2隻体制については、市で保有する観光遊覧船キラリンと、一般社団法人富山湾マリンの観光船「若潮」を借りて実施してきたところである。船員確保ができていないことから、氷見沖クルージング自体も休業が続いている状況である。若潮の船員確保に現在目途が立っていない、加えて滑川沖を航行するために、法改正がありそれに伴い改良型いかだ等の積載が追加で必要になるなど課題がある。この課題等共有しながら、2隻体制の復活に向け協議を継続していきたい。

一般質問



4 3 2 1

行田公園の管理、整備について
駅前団地の跡地活用について
農業の振興について
学校教育について

原

明 議員



Q 行田公園の旧児童館跡地、遊具広場、SLや格納庫の整備、園路補修工事の計画を問う。

A 北島建設部長

遊具や境界柵の

更新工事など計画的に行っており、今年度は、社会福祉センター側の階段改修工事と遊具の更新を予定している。今年度中に、第3次滑川市都市公園長寿命化計画を策定の上、国の交付金を活用し、計画的な更新を実施する予定である。

Q ハナシヨウブの生育が悪いため欠株の補充、施肥、防虫対策としての殺菌、土壌改良など、生育環境改善が行われたが、生育状況を問う。

A 北島建設部長

開花時期は昨年

より10日前後遅れているが、昨年以上に咲くのではないかと考えている。生育状況は、気候条件など様々な要因に左右されるので、今後も観察を続け、必要な対策を実施し管理に努めていく。

Q 駅前団地の解体から9年が経過したが、今後の整備、活用の予定を問う。

A 北島建設部長

跡地周辺は、第

2種中高層住居専用地域に指定されており、現在当該跡地活用に係

る個別具体の整備、活用計画はないが、跡地活用が既存の住環境を生かした有効な公共空間の利活用となり、持続可能なまちづくりへとつながるよう検討して行く。

Q 地域農業の未来設計図である地域計画のアンケート結果と今後の取組を問う。

A 長崎産業民生部長

市内の農業

者の農地の利用意向を把握するアンケート調査の結果を基に、本年3月に地域計画を策定し、ホームページで公表している。地域の皆様が守り続けてきた農地が引き続き利用され次世代に引き継いでいくため、地域計画を毎年ブラッシュアップしながら農業の振興に取り組んでいく。

Q 日本語の指導を必要とする、話せない10人の外国人児童、生徒への生活・会話指導の実施を問う。

A 上田教育長

就学までの生活状

況が一人一人異なるため、編入学時の面談や学校生活を送る中で、児童、生徒の話す・聞く・読む・書くなどの日本語の能力の実態把握を行い、個別の指導計画を作成して指導に当たっている。その他の質問 有害鳥獣による被害について

一般質問



2 1
補聴器助成制度の拡充について
介護保険の「住宅改修費等」の給付
対応について



古沢利之議員

Q 加齢性難聴者への補聴器購入助成制度の令和6年度の実績はどのくらいあるのか。

A 石川健康福祉部長 令和6年度の実績は2件で、他に相談はあったが所得制限により申請に至らなかったケースが2件あった。購入金額は1台10万円から30万円で上限額の2万円をそれぞれ助成した。

Q この助成制度の目的は「中高年齢者の補聴器の装用を促進し、認知症及びうつ病等の発症リスクを低減させるため」とされている。このような状況でこの目的が達成できるのか。

A 石川健康福祉部長 確かに、なかなか達成が難しいかなと思う。

Q この助成制度の紹介はされているのか。

A 石川健康福祉部長 制度開始時は広報にも載せたと思うが、今年度は掲載していないと思う。

Q 認知症のリスクが高まるというのが共通の認識だ。改めて見解を問う。

A 石川健康福祉部長 認知症リスクを減らすことに着眼し、介護予防の観点からも啓発を進めたい。

Q 介護保険の住宅改修費等の給

付で、本人負担だけを支払い保険から給付される分は事業者が直接支払われる「受領委任払い」を令和5年12月議会でも求め、本年3月から実施された。関係者には伝えたのか。

A 石川健康福祉部長 制度開始にあたり、住宅改修事業者等やケアマネージャーにも周知した。「受領委任払い」実施後の4月、5月の申請でこの制度の利用が増えている。

Q 令和6年6月発行の介護保険のパンフレットには、いったん全額利用者が立て替える「償還払い」だけ載っている。「受領委任払い」の説明も入るのか。

A 石川健康福祉部長 パンフレットは計画の3期ごとに発行しており、窓口で丁寧に対応したい。

Q 今のパンフレットには「償還払い」の説明しかない。早急に一枚入れるとかの対応をすべきではないか。

A 石川健康福祉部長 一枚修正版を入れたと思う。

その他の質問
・特別障害者手当について

一般質問



4 3 2 1
職員の働き方や職場環境について
交通安全について
スポーツ振興について
個別避難計画の作成について



高川正樹議員

Q 職員の働き方改革として、どのようなことが行われているのか。

A 石川総務部長 職員のワーク・ライフ・バランスの実現を目的とした柔軟な働き方の整備が求められている。多様な勤務制度の導入や、妊娠、出産、育児、介護等のライフイベントと仕事の両立支援として、各種休業、休暇の取得促進に取り組んでいる。多様な勤務制度としては、時差出勤勤務制度や、育児または介護のための早出遅出勤勤務制度、テレワークによる在宅勤務を実施しており、一日の勤務時間を変えずに、個々の職員の事情を尊重した柔軟な働き方を可能とする制度を整備している。

Q 令和8年4月より予定されている自転車交通違反の交通反則通告制度（青切符）に対する市民への周知はどのように行っているのか。

A 長崎産業民生部長 滑川警察署や滑川市交通安全協会など、関係機関と連携を図りながら、制度施行までの間、各種行事で、自転車も車両の一種であり、基本的な交通ルールを遵守する必要があることや、警察の警告に従わないなど、悪質、危険な違反行為については

取り締まりの対象となり、反則金が課されることになることなどについて丁寧に周知を行う。

Q 過去に小中高生たちがスケートボードをする場所の整備について質問した際、まずは市民ニーズを把握したいとのことであったが、その後どのように進めてきたのか。

A 高倉教育委員会事務局 市内でスケートボードを行う場所がない、自転車で行ける範囲にスケートボードができる場所が欲しいといった声があることは承知している。今年度、市生涯スポーツプランの見直しに際して、市民のスポーツに関する意識調査を行うこととしており、これも活用して市民のニーズの把握に努めたい。

Q 個別避難計画は、令和8年度までに作成することが努力義務化されているが、順調に進んでいるのか。

A 石川健康福祉部長 令和7年度は、ハザードマップで被災が想定されていない区域に居住している方やこれまでのひとり暮らし高齢者登録名簿や避難行動要支援者見守り台帳の登録者に、作成希望の有無をお伺いする案内を送付する。

一般質問



1 教育について
2 まちづくりについて

開田 晃江 議員



Q 学校教育、コミュニティ・スクールについて問う。学校運営協議会の委員は何人で、どのような構成なのか。

A 上田教育長 委員構成については、教育委員会規則で定めるとしており、自治会代表や、PTA代表、民生委員、同窓会代表などの保護者や地域住民のほか、大学教授等の有識者、教育委員会事務局職員も考えている。人数は、校長を含め10名以内で構成するものと定めている。

Q 委員は公表していくのか。また、任期はあるのか。

A 上田教育長 公表していく。任期は1年となっている。

Q どうしてこのような仕組みがつくられたのか問う。

A 上田教育長 公立学校の運営に保護者や地域住民が参画することにより、学校教育方針の決定や教育活動の実践に、地域のニーズを的確かつ機動的に反映させるとともに、地域の創意工夫を生かした特色ある学校づくりが進むことを期待し、つくられた制度となっている。本市においても、地域の担い手である子どもたちを、地域で

育てるという意味において重要であると考えている。

Q 協議会で意見が出ないとか、1人の意見だけで話が進んでいく、また、校長先生の権限まで脅かす問題が発生した場合の解決策は。

A 上田教育長 コミュニティ・スクールは合議体の組織であり、1人の意見で進むことのないように規則をしっかりと定めている。

Q 市内全小中学校の保健室に、シャワー室が設置されているのか問う。

A 高倉教育委員会事務局長 5つの小学校には設置されているが、4つの小中学校には設置されていない。シャワー室設置のメリットは十分に認識していることから、未設置の学校についても設置について検討していきたい。

Q 滑川の全ての飲食店を対象に、期間を定めて、試行的にポイントカードによる飲食店の活性化を図ってはどうか。

A 長崎産業民生部長 飲食店の事業継続が困難で閉店する店舗や、新規店舗の開店もある。ポイントカードの導入も含め、市内飲食店の活性化に向けて考えていきたい。

一般質問



1 5歳児健診について
2 教育について
3 熱中症対策について
4 東福寺野自然公園について

尾崎 照雄 議員



Q 政府は、乳幼児健診をめくり、発達障害の早期発見に有効として5歳児健診の普及に向け、自治体の支援強化に乗り出した。本市の取組について問う。

A 石川健康福祉部長 現在、国の方針を踏まえ、来年度からの実施に向け、対象者の選定方法や専門職等の確保の実施体制及び健診後の支援体制の整備について、先行事例等を参考に、関係機関と検討を進めるところである。

Q 5歳児健診を実施するに当たり、医師の確保は大丈夫なのか。

A 石川健康福祉部長 現行の乳幼児健診において、月に3回、小児科医師の診察を依頼しているが、事業の趣旨に理解をいただき、滑川市医師会等と連携しながら、医師の確保に努めていきたい。

Q 司書教諭として力を発揮してもらい、そのサポート役として学校図書に働いてもらい、学校図書館を活用するべきと考える。子どもたちに読書をさせることは非常に重要であると認識しているが、教育長の見解を求める。

A 上田教育長 本を読むことは、様々な効果があり、本市の児童・

生徒にも大いに読書に親しんでもらいたいと考える。児童・生徒が本に関心を持ち、読書に親しむことができるよう、学校司書や司書教諭等からの意見も踏まえながら引き続き、学校図書館の充実に努めていきたい。

Q 子どもたちの通学時、熱中症警戒アラートが発令された場合、どのように対応していくのか。

A 高倉教育委員会事務局長 アラートが発表された日には、あんしんメールなどを通じて登下校時の注意喚起を保護者に出す学校もある。市内の小中学校には登下校時の熱中症対策について、教職員間で共通理解を図るよう確認をしており、今後も安全に登下校できるよう留意していきたい。

Q 東福寺野自然公園の整備の方向性はいつまで結論を出すのか。

A 柿沢副市長 整備の方向性を今年度中に定めたい。その際には、複数の民間事業者の意見も並行していただくとともに、実証実験を議会にも相談しながら実施し、整備方針を固めたい。検討に当たっては、市議会はもとより市民の皆と対話を重ね、進めていきたい。

一般質問



1 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）について
2 なめりかわ未来学校について
3 埼玉県比企郡滑川町との交流について

吉森 真人 議員



Q 企業版ふるさと納税のこれまでの寄附実績を問う。また、近隣市町村等と比較してどうなのか。

A 石川総務部長 寄附実績は、令和4年度から令和6年度までの3か年で13件、1千580万円。他市町村との比較においては令和6年度の実績が出ていないので把握できない部分もあるが、なかなか滑川市への寄附が伸びていないことも事実。新たな手立て等も打ちながら実施していかなければならない。

Q 本社がある自治体に対して寄附をしてもこの税制は適用されない。市内のそのような企業が滑川市以外の他市町村にどのくらい寄附されているか把握しているのか。

A 石川総務部長 申し訳ないが、そのような事を統計的に調べてはいない。

Q なめりかわ未来学校を創設した目的を改めて問う。

A 上田教育長 このまちの未来を考えるとという活動とおして、社会の課題を見つけ、世代を超えた集団の中で共に対話し、自分たちの結論を導くという経験を提供する事を目的としている。北欧デンマーク流の教育手法を取り入れた

背景としては、民主主義社会に参画できる自立した市民を育てることを目的とし、知識習得に重点を置いた学校教育と探求力の鍛錬のための社会教育を組み合わせている。特に学習者中心で対話や体験をとおして、主体的な学びを促すところが特徴であり、現在小学校にも求められている主権者教育や、本市でも大切にしているふるさと教育など、未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力の育成について重なる部分が多くある。

Q 事業内容について昨年度との違いや特徴などあるのか。

A 上田教育長 サマースクールは、これまで連続4日間という日程だったが、参加しにくいという意見から前半2日間、後半2日間と間隔をあけて設定している。

Q 滑川町との連携に向けて具体的な検討や準備を進めていくのか。

A 水野市長 相手方の意向を確認する必要がある。議員視察をきっかけにして私が行くことも考えていかなければならない。双方の合意に基づいた関係を築いていくことが重要であり、今後の交流や連携を前向きに検討していきたい。

一般質問



1 消防団員の担い手について
2 体育館の空調設置について
3 健康寿命延伸について

青山 幸生 議員



Q 消防団の力向上モデル事業が採択され、消防団員を募集するための車両ラッピングを行うとのことだが、経緯と具体的な内容は。

A 石川総務部長 昨年9月の定例会で議員からの提案を踏まえて、国の消防団の力向上モデルの活用を申請したところ、先般補助採択の内示があった。事業については市内を運行するコミュニティバス車両等に消防団員募集のラッピングを施すことで、バス利用者に限らず、多くの市民が目にとめることにより幅広い世代に対して消防団員募集をPRし、消防団員確保に努めたいと考えている。

Q 早期に公立学校体育館における冷房設備に係る空調設備整備臨時特例交付金の申請をしてはどうか。

A 高倉教育委員会事務局長 体育館は、通常の教育活動のほか災害時の避難所としての機能も有しているため、空調設備設置の必要性は十分認識している。現在実施している基本調査の結果を基に、事業内容等を検討することとしており、整備する場合は、直ちに交付金手続を進めていきたい。

Q 特定健康診査受診券在中の封筒をもっと自分ごとになるようなキャッチコピーをお願いしたところこのように記載があった。「特定健診は無料！受けないのはもったいない！人生100年時代、年1回の健診で身体の確認を」これを見て事業を前向きに取り組まれていると感じる。直近の特定健康診査40から74歳の受診率は5年平均何%になっているか。また令和6年度は何%だったか。

A 石川健康福祉部長 特定健康診査における令和2年度から6年度の直近5年間の受診率の平均は47.4%である。また令和6年度の受診率は、現時点での暫定値であるが50.2%となっている。令和2年度以降のコロナウイルス感染症の影響で受診率が大きく下がっており、ようやくコロナ前に戻りつつあるという状況だ。

Q 受診率向上について何かアイデアはあるか

A 石川健康福祉部長 これまで以上に広く受診を訴えたいと考えており商業施設へのポスター掲示のほか、子どもと親世代への啓発や受診の働きかけについて取り組んでいきたい。



田中小学校の6年生が 議会の傍聴に訪れました



6月9日、田中小学校の6年生29名が、社会科の授業として、一般質問を傍聴しました。

その感想をいくつか紹介します。

・滑川市議会を見学して、タラソピアを解体することを知って驚きました。解体後の跡地がどう使われるのかも気になりました。他にも、税金が減らないので、税金の話はしていいと思うけれど、減税を目標とした行政評価について話し合っていたのすごいと思いました。

・私は、市議会で思った感想は、私が最後まで聞いた話の宿泊施設を増やすか増やさないかの話です。私は、市議会議員や市役所の方の話はよく分からなかったけど、私的には宿泊施設は増えてほしいと思いました。なぜかと言うと、4年生で行った宿泊学習の場所青雲閣がなくなってしまうからです。だから滑川市の宿泊施設が減っているから宿泊施設が増えてほしいと思いました。話合

滑川市民のことを考えているのかなと思いました。



<傍聴の様子>

ルとかに泊まりたいけど、富山市とかに行かなきゃいけなくて大変なので、滑川にホテルを作ってほしいなど、市民の願いを考えていてとてもすごいと思いました。これからも、税金のことか議会についてもっと知ろうと思いました。

・私は本会議を傍聴して、思ったことがあります。それは質問に答えるときに市役所の方だけが答えるのではなく、市長も答えていたことです。私は最初、市役所の人だけが質問に答えることができるのかと思っていました。するとなぜ市長が座っているのかと疑問に思いました。その次の日、このことを先生に質問すると、市役所の人答えられそうにない時に市長が答えると知りました。私はこのことを知って、また傍聴するときに生かしたいです。

・僕が、滑川市議会を見学して思ったことや心に残ったことは、二つあります。一つ目は、市民が集めてくれた税金を無駄使いたくないようにしっかりと話し合ってくれていることです。二つ目は、市民の願いを考えていたことです。市外の人ホテルイカ観光に来たときに、滑川のホテ

・僕は、皆さんに税金のことを考えてほしいと思いました。何故なら、最近税金のことでもめているからです。ぼくも、税金のことをもっと知りたいです。

・僕が見学に行つて思ったことは、議場は想像していたよりも厳肅な雰囲気でした。議員の方々が市の課題について真剣に議論している姿を間近で見ることができ、大変貴重な経験となりました。特に印象に残ったのは、ホテルを建てるか、建てないかについての質疑応答です。市役所のある職員が、わかりやすい説明で質問に答えを言っていたのが印象的でした。普段の生活で感じていた不便な点が、まさに議論のテーマとなっており、市政が自分たちの生活と直結していることを改めて実感しました。これまで少し遠い存在に感じていた市議会ですが、今回の傍聴を通して、もっと身近なものとして関心を持ち続けることの大切さを感じました。今後も機会があれば、ぜひ傍聴に訪れたいと思います。

・私は今回の市議会の見学へ行つて、市議会では私たちの生活に関わることや滑川市を今よりもよい市にするためのことを話し合つて、どうするかを決めているということを初めて知りました。今回の市議会で話し合っていた滑川市にホテルを造るとい

う話について、私は造つた方がよいと思います。理由は、滑川市はホテルが少なく、ほかの場所から観光に来た人がいたら泊まる場所を選べません。多くの人は魚津市や富山市に行つて、そのホテルに泊まる人が多くなるから、滑川市にホテルを増やして滑川市のホテルに泊まつてもらつて、滑川市のよいところをたくさん知つてほしいと思います。

・滑川市議会の見学では、議員と市長が滑川市にホテルは必要なのかを話し合っていました。議員と市長が話しても話しても、もめ合つていて、市議会での話し合いは、長い時間色々な情報を言い合うことで、どちらに主張するかをはっきりさせることが、市議会の話し合いの大切ななんだなと思いました。

・私が市議会見学に行ったあと、学校に行つてから、先生に「議長は議員の中から選ばれる」と教えてもらいました。質問者が意見を言つてしつかり「ありがとうございます」と言つていたのがすごいと思いました。宿泊施設の話や税金の話の聞いた

て、6年生でも分かりやすかったです。市民のために話合っていたのがすごかったです。



<会議室での様子>

・僕が滑川市議会を見学して思ったことは、皆が真剣に話していてすごいと思いました。あと、議員の質問に全て答える市職員がすごいと思いました。

・私は、質問してから答えるまでの時間がとても短いなと思いました。それと、質問の仕方がとても上手なのと、答える方もうまい答え方をし

ていたのです、すごいなと思いました。あと、法律を使って説明していたので、わかりやすいなとも思いました。

・あまり内容がわからなかったけど、えらいひとたちがいっぱいいて、すごかったです。他にも質問を止めずにやっていたのがすごかったです。市民のことを考えてるんだなと思いました。

・僕は、滑川市議会を見学して、大人たちが滑川市のために努力をしているということが分かりました。目標にしていきたいです。市長もいろいろな質問に対応できてすごいと思いました。



**総務文教消防委員会行政
視察（5月13～14日）**

◆埼玉県さいたま市

（体育館の空調設備について）

さいたま市は、近年の夏季の気温上昇に伴い、良好な教育環境を確保するとともに災害時の避難所機能を強化するため、段階的に市立中学校の体育館への空調設備の整備を進め、今年度末までに全市立中学校に整備する。

整備する空調方式は個々の学校の状態に応じて検討する必要があるが、避難所開設を考え、停電時に対応できるガス式電源自立型を優先的に設置した。断熱性を確保するにあたっては、建具劣化部の更新及び調整や屋根に遮断性の高い塗料の塗布をするなどして対応している。

中学校を先行して整備したのは、部活動があり利用時間が長く、また、避難所を開設した際には、広い面積により多くの避難者を受け入れられるためである。今後は小学校への整備を進めていく予定である。

◆埼玉県比企郡滑川町

（子育て支援施策について）

滑川町は若い世代の転入が多く、100年後も消滅しない町として他自治体やメディアなどから注目されている。

若い世代の転入が多いのは、子育てファースト滑川として、こども医療費無料化や給食費の無償化などの子育て支援策に先進的に取り組んできたことが要因のひとつであると推察する。

滑川町の一般会計のうち、給食費無償化の対象経費のみでも約1.5%を占める。近年の物価高騰により今後、も負担額が増加することが予想され、予算の確保が事業継続の鍵となる。



＜滑川町庁舎＞

**産業厚生建設委員会行政
視察（5月14～15日）**

◆新潟県阿賀野市

（GPS除雪管理システムについて）



＜阿賀野市庁舎＞

阿賀野市ではGPS除雪管理システムを導入し、除雪車両の位置情報をウェブサイトに公開することで市民が現在の除雪車両の位置を確認できるようになった。

これまで除雪終了後に除雪業者が日報や請求書の提出を行っていたが、位置情報などをもとにシステムが「回送中」稼働中などを分析するため、「自己申告だった請求」が「実績に基づく請求」となり、除雪費用の縮減を図れるとのことである。

業者からの日報を市の職員が確認

しており、令和5年度では1回の出勤あたり4時間17分の時間外勤務があったが、システム導入後の令和6年度では1回の出勤あたり19分と、時間外勤務時間の縮減が図られている。

◆新潟県十日町市

（除排雪経費に係る

基本料金支払い制度について）

除排雪経費に係る基本料金支払い制度は、各業者の平年の実績などを基に、その7割に相当する額をシーズン前に基本料金として支払い、実績に応じた精算はせず、払いきりとしている。出勤回数が多く、基本料金を超えた場合は、その後の除雪単価は9割の単価で支払うものである。

除雪業者は除雪オペレーターの高齢化から新たな担い手を確保する必要があること、また、除雪車両の点検、整備に高額な費用が掛かるといった事情があった。また、十日町市については市の面積が広く、土木費決算額60億円に対し、道路除排雪経費が20億円と、約3割に達しており、除排雪経費を削減したいという事情から創設されたものである。

陳情・要望書

處理結果

①陳情書（1件）

- ・ 能登復興支援のための滑川市保有船「キラリン号」珠洲便の就航についての陳情

…… 全議員へ参考配付

毛利 豊

②要望書(1件)

- ・ 令和 7 年度聴覚障害者福祉施策に関する要望

…… 全議員へ参考配付

滑川市ろうあ福祉協会 会長 蜷川 一美

議案の審議結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第30号	令和7年度滑川市一般会計補正予算(第1号)	総産	原案可決
議案第31号	滑川市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第32号	滑川市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第33号	滑川市重度心身障害者等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第34号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第35号	滑川市工業振興条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第36号	滑川市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第37号	市道の路線認定及び廃止について	産	原案可決
議案第38号	地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて 専決第4号 令和6年度滑川市一般会計補正予算(第11号) 専決第5号 滑川市税条例の一部を改正する条例の制定について	総産	原案承認
議案第39号	滑川市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第40号	滑川市監査委員の選任について	一	原案同意

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会

6月定例会は全員賛成だったため、賛否一覧表は掲載しません。



＜懇談会の様子＞

令和7年6月25日（水）、滑川市役所本館3階大会議室で、厚生連役職員と市議会議員との懇談会を開催しました。懇談会では富山県厚生連高木代表理事理事長の挨拶に続き、竹原議長の挨拶、出席者紹介の後、滑川病院の業務運営状況について説明がありました。続いて行われた意見交換では、滑川病院の経営状況や医師等の人材の確保、広報活動などについて意見が交わされ、滑川病院の現状について理解を深めました。

厚生連役職員との 懇談会を開催



＜意見交換会の様子＞

広報広聴委員会では今年度の議会報告会として、令和7年7月3日（木）、市民交流プラザ3階多目的ホールで、市小中学校PTA連合会との意見交換会を開催しました。会長とPTA役員あわせて23名に出席いただきました。意見交換では児童の安全・安心についてと各学校の設備についてのテーマのほか、各学校における現状や諸問題などについて積極的に質問や意見、要望をいただきました。

市小中学校PTA連合会との 意見交換会を開催

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 47512120

【議会報編集委員】

高川正樹委員長 古森真人副委員長
谷崎潤一 委員 青山幸生 委員
古沢利之 委員 開田晃江 委員
中川 勲 委員

9月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘 要
9月1日（月）	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
8日（月）	10時	代表、一般質問
9日（火）	10時	一般質問
10日（水）	10時	総務文教消防委員会
11日（木）	10時	産業厚生建設委員会
16日（火）	10時	決算特別委員会
17日（水）	10時	決算特別委員会
18日（木）	10時	決算特別委員会
22日（月）	10時	決算特別委員会
25日（木）	11時	委員長報告、質疑、討論、採決



なめりかわ市議会だよりの発行日について

滑川市議会だより第220号の発行日を、11月1日から12月1日に変更します。